

特定非営利活動法人お口の健康ネットワーク 第27回理事会議事録

1. 日時 2022年4月10日(日) 9:00~11:20
2. 場所 WEB開催
3. 開会 定足数報告

理事総数、出席者数は次の通りである。

理事総数：19名、出席者：18名

出席者：旭律雄、伊佐津和朗、磯崎篤則、河村啓司、木村年秀、楠本雅子、黒瀬真由美、小畑文也、
小林崇之、津野敬一朗、友藤孝明、中村宗達、長浦寛子、丸岡三紗、宗形信司、森田学、
守屋啓吾、山口一朗
(事務局) 草野栄路

4. 理事長挨拶

長崎での開催ができず、理事会はWEBで行わせていただくことになりました。昨年10月以来の理事会で、いろいろと検討事項もございますので、今日はよろしくお願いします。

5. 議事録署名人選出

議事録署名人を中村宗達、長浦寛子とすることが提案され、承認された。

6. 報告事項

6-1. 会員数(事務局)

事務局より、資料に基づき会員数の推移について報告があった。前期末より若干増加している。

6-2. 活動状況及び収支状況(事務局)

事務局より、資料に記載の内容について報告を行った。

6-3. 認定歯科衛生士登録・申請状況(事務局)

長浦理事より、認定歯科衛生士の登録申請者、推薦状況について報告があった。

津野理事より、自営の歯科衛生士さんからの申請があるが、別途規定が必要かもしれないとの指摘があり、認定委員会で今後検討することになった。

6-4. つまようじ法臨床研究の報告(友藤委員長)

友藤委員長より、資料に基づき手用歯ブラシと音波振動歯ブラシを使用比較した臨床研究の報告があった。学生を被験者としたアンケート結果では音波振動歯ブラシのほうが好印象であるなどの結果であった。森田副理事長より、今回の実験とは直接関係ないこととして、一般的に音波振動歯ブラシ使用時は歯面に接していることが必要だが、つまようじ法の場合一旦歯面から離れることが音波振動の効果を

下げる可能性があるとの指摘があった。

6-5. 認定委員会報告（小林委員長）

（1）認定歯科衛生士制度の申請・更新について

小林委員長より、以下の修正案について報告があり、特に異議はなく了承された。

- ・「訪問実習受講後 1 年以内に申請を出すこと」という要件を追加
- ・更新要件④b の分かりにくい文言の修正
- ・附表 1 の登録料の記載追加

黒瀬理事より、認定歯科衛生士取得のためのクリニックでの実習受入時の受講料について質問が出たが、今後ルール化を検討することとした。

（2）認定歯科医師について

小林委員長より認定歯科医師という新制度について説明が行われた。認定医療機関の所属を外れた歯科医師や、フリーランスの歯科医師などを対象とし、認定歯科衛生士制度をベースに設計したものである。新設制度のため、今秋の理事会で最終的に承認を得る方向で進めることとなった。

（3）認定歯科医療機関の附表の追加

小林委員長より、附表に認定申請料その他を分かりやすく記載する案が示された。研修会参加費などは若干変動の可能性もあるため、「研修会参加費は別途」などと記載方法を工夫することとして了承された。

（4）認定医療機関の過去の規則細則の改定について

小林委員長より、認定医療機関制度規則の改正案が示された。発足当初の規則と現行の運用にズレが出てきており、現行の内容に合わせて規則の改定を行うもので、認定歯科衛生士、指導歯科衛生士、認定歯科医師についても今後規則の作成が必要との方針が提起された。今回の改正案については異議なく了承された。

津野理事：2022 年末で更新期限を迎える認定医療機関に対して、コロナ禍で訪問実習受講が難しい地域の歯科医院への配慮が必要ではないか。

小林委員長：2 回（2 年）更新期限を延長しており、今後は通常通りに戻していきたいとは考えているが、現状で 3 回目の更新期限延長をすべきかどうかについて理事の皆様の意見を伺いたい。

津野理事：地域差もあると思うので、特例対応してほしい医療機関があれば、自己申告で 1 年延長も可というのはいかがでしょうか。

以上のような議論を踏まえ、状況を見ながら対応を検討していくこととなった。

6-6. 企画委員会報告（津野委員長）

（1）今後のくちフェスの予定

津野委員長より、長崎中止の経緯の説明および、来年（第8回）は札幌、第9回は埼京（東京・埼玉）、第10回は記念大会として岡山での開催を検討しているとの報告があった。

また、津野委員長より、岡山大学予防歯科の医局の先生にもご参加いただきたいとの発言があった。黒瀬理事からは、予防歯科の医局出身の開業医にも声をかけたいとの意見があった。

（2）理事アンケートの取り扱い

津野委員長より、秋に向けて整理しているとの報告があった。

6-7. セミナー委員会報告（伊佐津委員長）

伊佐津委員長より、今年は基本的には対面でのセミナーを予定しているとの報告があった。

事務局より、丸岡理事の協力のもと、マンガを使ったセミナーの告知を行っているとの報告が行われた。

6-8. 地域歯科保健委員会報告（中村委員長）

中村委員長：3回リモート会議を行った。資料に記載のように、歯周病の地域診断について話し合いをしている。第8回には森田先生にもご参加いただいた。

6-9. 会報について（事務局）

事務局より、資料に基づき直近と今後の発行予定と内容について報告を行った。黒瀬理事より、「基本のき」について意見を求めたところ、丸岡理事より、歯科衛生士はより実践的な内容（テクニックやQ&Aなど）のほうを読んでもらいやすい、また会報はスタッフ分の冊数が配布されると嬉しいとの回答があった。

6-10. その他

黒瀬理事より、渡邊先生への講演依頼を有志で行いたいと考えているので、その際はご参加いただけたらとのご報告があった。

7. 審議事項

7-1. 認定歯科衛生士の承認

13名の方が認定歯科衛生士として承認された。

7-2. 歯周病地域診断実施の国への要望（中村委員長）

中村委員長より、今年の10月までに資料に記載のような提案をまとめた上で、国への要望を行いたいので、理事の皆様方の賛同を得たいとの発言があり、特に反対意見はなく承認された。木村理事からは、香川県内の特定健診での歯科に関する質問項目を集計すると、市町レベルでの地域差が分かることが示された。提案書が完成した際には、理事内で共有することとした。

7-3. 次回以降理事会・総会・研修会日程

以下の通り予定することとなった。

2022年10月1日（土）：第28回理事会

2022年10月2日（日）：第14回通常総会、研修会（講師：山本龍生理事）、第8回認定医療機関教育講演

7-4. ホームページの移転について

事務局より、資料に基づきホームページの移転計画について説明を行い、実施費用について承認を得た。

7-5. その他

（1）認定委員会の小林委員長より以下2件について理事の意見を伺いたいとの発言があり、議論を行った。

①「認定歯科衛生士制度の申請・更新について」「認定歯科医師制度の申請・更新について」という文書名になっているが、「制度」という文言を外すことについて提案があり、承認を得た。

②「認定歯科医師」と「認定医」のどちらの呼称がふさわしいかについて

友藤理事：歯科医師であることが要件となっているので、認定歯科医師でよいのではないかと（認定医だと医師も含まれてしまう）。

守屋副理事長：他学会等では認定医という呼称が一般的ではないか。認定歯科医師のほうが分かりやすいが、そこまでこだわる人がいるのか疑問である。

森田副理事長：現在、日本歯科専門医機構というところがあり、そういった公的な第三者評価を受けた上で専門医を名乗るべきというのが最近の流れになっている。

以上のような議論を行った上で、参加理事にて多数決を取り、認定歯科医師という呼称とすることに決定した。

（2）津野理事より、セミナーの集客にご協力をお願いしたいとの要請があった。状況によっては歯科大学や歯科衛生士学校の学生を招待することについて理事の意見を伺いたいとの発言があり、理事多数の賛成を得た。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2022年4月10日

議長

磯崎 篤則



議事録署名人

中村 宗達



議事録署名人

長浦 寛子

